

平成8年1月9日

～母国語の書籍で安らぎを～

豊島区立中央図書館に外国語資料コーナーオープン

豊島区立中央図書館(東池袋5-39)2階に『外国語資料コーナー』がオープンしている。同区は、外国人居住者数が、区民16人にひとりの割合と都内で3番目に外国人の多く住むところ。外国人の図書館利用者も年々増えてきており、また国際理解の必要性から区民からの外国語資料をとの声もあり、昨年12月にこのコーナーを開設した。

蔵書数は、韓国・朝鮮語144冊、中国語181冊、英語431冊、その他8冊の計764冊で、内容は小説などの読み物が中心となっている。同館では、7年度中には約1000冊に、8・9年度でさらに1100冊を増やし蔵書数を2100冊にする計画。このほか、児童室には約1000冊の外国の絵本を蔵書している。

利用状況は、このコーナーが開設されるまでは、洋書の蔵書数が少なかったこともあり、1か月の貸し出し件数は2桁台であったが、コーナーの開設で中国語やハングル語の蔵書が増え12月の貸し出し件数は約130件に伸びた。「このコーナーの存在をより多くの外国人居住者に知っていただき、母国語の書籍に接することで安らぎのある生活を送ってもらうことができれば」と担当者は話している。

貸し出しは、一般図書と同じ手続きで、10冊まで。期間は15日以内で、区内の他の図書館からも予約をすることができる。

・詳細 中央図書館 奉仕係